

令和7年度 府中市立府中第六小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2 学期末	年度末
国語	- 日常的に既習漢字を活用することに課題がみられる。 - 段落ごとの要点を見つけることはできるが、段落相互の関係や場面の移り変わりなど、文章全体を意識した読みに課題がみられる。 - 単元の学習に見通しをもち、自ら学習計画を立てることに課題がみられる。	- 熟語を多く習得できるよう国語辞典や漢字辞典を活用する場面を増やす。【決定】 - 文章を何度も読み返す必然性を生み出す授業展開を行い、文章全体を捉えて読む意識を高めさせる。【発見・決定】 - 単元の目標や課題を明確にし、提示する。目標の達成や課題解決に向けて必要なことを友達と話し合いながら計画を立てる時間を作る。【発見・対話】		
算数	- 基礎的な計算力の定着に差がみられる。（特に掛け算・簡単な割り算） - 文章問題の内容を理解して、式や解決方法を引き出すことに課題がみられる。	- 計算の仕方の確認を定期的に行い、プリントや e ライブラリを活用し、個人の課題を意識させながら既習の計算に繰り返し取り組ませて、基礎的な計算力の定着を図る。【決定】 - 数直線や図に表す活動を繰り返し行うことで、問題の内容を把握し適切な立式の方法を考えられるようにする。【決定】		
理科	- 身近な自然事象や体験の中から課題を導き出すことに慣れていない様子がみられる。 - 理科用語の概念が曖昧なまま使用しており、予想や考察の根拠が不明瞭な様子がみられる。	- 身近な自然現象、体験の中から課題を導き出せるように、対話や課題発見の時間を多く設ける。【発見・対話】 - 単元ごとに使用する言葉の概念を明確にしながら、教師が意識的に理科用語を使用する。前学年までに学習した言葉も意識的に使用し、繰り返し指導する。【表現】		
社会	- 問題解決に向けて、資料から必要な事柄を正確に読み取ることが難しい様子がみられる。 - 社会的事象について調べてまとめることはできるが、自分と社会のつながりや社会的事象の必要性を考えることに課題がみられる。	- どこに着目するか、大切なことは何かなど資料の読み取り方を丁寧に指導して、徐々に自力で読み取る力を付ける。【発見】 - 社会的事象を正しく理解させる。そして、その事実から考えられることはどんなことかを繰り返し問い、事実と考えの関係を理解できるようにする【表現】		
音楽	- リコーダーの演奏では、息の調節はできているが、タンギングに課題がみられる。 - 歌唱では元気な歌声で歌うことができるが、頭声発声で豊かな響きで歌うことに課題がみられる。	- 友達同士で聴き合う場面を増やし、様々な曲想の楽曲に取り組み、技能を身に付けられるようにする。【対話・表現】 - 友達と聴き合いながら、良い歌い方を模倣するような場面設定をし、発声練習を常時活動で続けることにより基礎力を付けるようにする。【発見・表現】		
図画工作	様々な道具や材料の特徴を活かして自由な発想でつくることに課題がみられる。	木工で自然材と加工材の特徴を活かしながら、自分の作りたいものを考えて自由な発想を広げさせる。また絵で表す課題では、モダンテクニックを自分なりに工夫して表現に活かせるように課題の設定を工夫して発想を広げさせる。【決定・表現】		
体育	- 各運動における知識・技能の習得状況に個人差がみられる。 - 考えたことを友達に伝えたり、自身の課題を見付けたりすることに課題がみられる。 - 場や器具などの安全に気を付けることに課題がみられる。	- 各運動の導入段階で教師による見本や ICT 機器を活用して技能を知識としておさえる。技能向上のために様々な運動を取り入れる。 - 各運動の導入段階で場の設定の確認、共通理解を徹底する。		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2 学期末、年度末に評価する。